



FileMaker プラットフォーム

最適な製品の選び方

FileMaker プラットフォーム

FileMaker プラットフォームは、連動してビジネスを効率化する一連の製品群で構成されています。Windows でも Mac でも動作する FileMaker Pro を使えば、カスタム・ビジネスソリューションを作成することができます。FileMaker Pro を使ってソリューションを実行することもできます。あるいは、さらに高度な開発とカスタマイズツールが必要ななら FileMaker Pro Advanced をお勧めします。作成したソリューションを iPad や iPhone で利用するなら、App Store から無料で利用可能なアプリ FileMaker Go をご利用ください。少人数のグループなら、FileMaker Pro で最大5人の FileMaker Pro または FileMaker Go ユーザーとソリューションを共有できます。

もっと大人数の場合は、FileMaker Server を使ってソリューションを共有してください。FileMaker Server には、さらに強固なセキュリティと堅牢な共有機能が備わっています。これには、FileMaker WebDirect テクノロジーを使用して、Web ブラウザからソリューションにアクセスする機能などが含まれます。

同時接続とは

ユーザーがソリューションに接続する方法によって、どの製品を選ぶべきかが決まります。図1のように Windows や Mac 上で FileMaker Pro ライセンスを使用しているユーザーは、FileMaker Server に追加コスト無しで接続できます。Web ブラウザ、もしくは iPad や iPhone で FileMaker Go を使っているユーザーは、有償で FileMaker Server に接続する必要があります。これを“同時接続”と呼びます。(カスタム Web 公開による接続は、“同時接続”に含まれません)

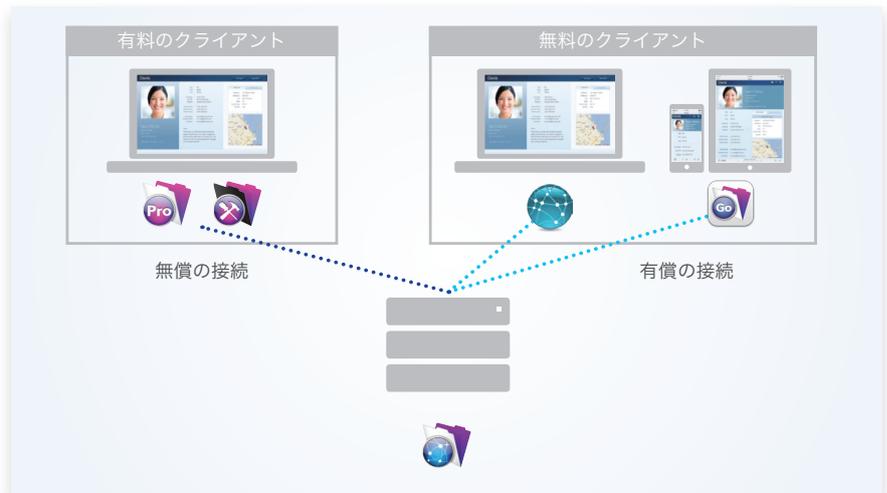


図1 無料のクライアントから FileMaker Server に接続するには、有償の“同時接続”が必要です。

たとえば、あるグループの数名のメンバーが、iPad、iPhone、Web ブラウザを使って FileMaker Server に接続し、FileMaker ソリューションを1日中継続的に使用しているとしましょう。図2のように、時間帯によって同時に接続しているユーザー数は異なります。iPad または iPhone から同時に接続している FileMaker Go のユーザー数と、Web ブラウザを使って同時に接続している Web セッション数を合計したものが最大になったときの数が、有償の“同時接続”の必要数になります。

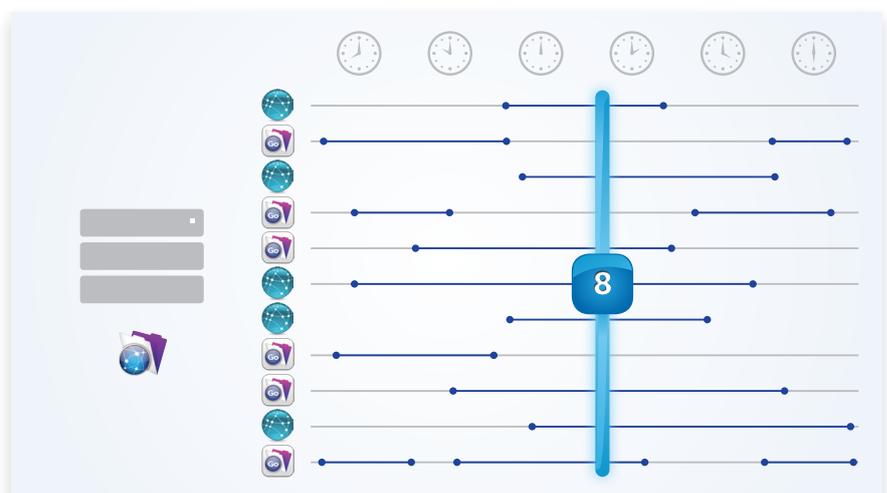


図2 必要な同時接続の最大数を予測し、5個単位でお求めください。

必要な同時接続数を予測するときは、一人で1つ以上の“同時接続”を使用する必要があることを考慮する必要があります。たとえば、一人のユーザーがiPhoneとiPad、さらにWebブラウザで2つのタブからそれぞれ同時にFileMaker Serverに接続していると、このユーザーは一人で4接続を占有していることになります。必要な“同時接続”の最大数を数えるときは、このような場合の接続数もカウントしなくてはなりません。

FileMaker Serverには“同時接続”がひとつ付いていますので、iPad、iPhone、Webブラウザを使ってソリューションをテストすることができます。追加の“同時接続”を購入する場合は、Server Admin Consoleの画面から、もしくはFileMaker Storeにて5個単位でお求めいただけます。FileMaker WebDirectは最大50までの同時接続が可能です。

たとえば、iPad、iPhone、Webブラウザからの“同時接続”が最大8と予測される場合は、5個単位の“同時接続”をふたつ、つまり合計10個の“同時接続”を購入する必要があるでしょう。グループの人数が増えたときは、さらに5個単位で“同時接続”を追加購入することができます。

50以上の“同時接続”をお求めの場合は

50以上の“同時接続”が必要な場合は、“同時接続”の数が無制限のFileMaker Serverライセンスを購入してください。“同時接続”の数に制限値はなくなりますが、ハードウェア構成やソリューションの複雑度により接続が制限される場合があります。お求めは、FileMaker ボリュームライセンスご相談窓口（フリーダイヤル：0120-983-878）までご連絡ください。

要点：

- ソリューションの作成と実行は、FileMaker ProまたはFileMaker Pro Advancedを使って、WindowsやMacで行います。
- FileMaker Goを使って、ソリューションをiPadまたはiPhone上で動作させることができます。
- 5人以下のグループでソリューションを共有するときは、WindowsやMacから接続するには各コンピュータにFileMaker Proライセンスを購入する必要があります。iPadやiPhoneから接続するには無料のFileMaker Goアプリを各デバイスにダウンロードしておく必要があります。
- ソリューションをもっと大人数で共有したり、Webブラウザから接続できるようにするには、FileMaker Serverを導入します。この場合、WindowsやMacから接続するには各コンピュータにFileMaker Proライセンスを購入し、iPad、iPhone、Webブラウザから接続するには必要な数の“同時接続”を購入します。

運用管理者の方へ – “同時接続”についての詳細情報

Web公開にFileMaker WebDirectを使うときは、Webブラウザから接続するための“同時接続”が必要です。カスタムWeb公開およびxDBC接続には“同時接続”は必要ありません。

FileMaker WebDirectでは、FileMaker Serverは次の場合に接続を解除します：ユーザーが明示的にログアウトしたとき、タブを閉じたとき、Webブラウザを終了したとき、もしくはWebブラウザがクラッシュしたとき。ユーザーがタブを閉じるかWebブラウザを終了した場合、もしくはWebブラウザがクラッシュした場合、FileMaker Serverは90秒以内にユーザーをタイムアウトします。

セッションタイムアウト間隔を指定する方法：

- FileMaker Go ユーザー用の拡張アクセス権 `fmreauthenticate` を使用する
- Admin Console の FileMaker WebDirect タブで指定する

FileMaker Server Admin Console で、“同時接続”の使用をモニタリングすることができます。“同時接続”の制限値の80%に達したら警告を出すように設定しておけます。

Admin Console は、FileMaker Go または FileMaker WebDirect のクライアントが“同時接続”の上限に達したためにアクセスを拒否されたときにログを記録します。Admin Console のメニュー [一般設定] > [接続] からいつでも追加の“同時接続”を購入することができます。



お問い合わせ先：
ファイルメーカー株式会社
www.filemaker.co.jp

ボリュームライセンスご相談窓口

 0120-983-878

受付時間 / 10:00 ~ 17:30
(祝祭日を除く月曜日から金曜日)
FAX: 03-4496-4377